

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

「自然を愛し、自然に学ぶ」をキーワードに、5つの活動に取り組みました。

○3年生「みかん大すき！」(みかん栽培を通して地域の特徴を知る活動)

4月、校内のみかん園で甘夏の収穫をし、みかんに興味をもった子どもたち。7月には、地域のみかん博士に教えていただきながら摘果を行い、育て方や種類など一人一人テーマをもって調べ学習を進めました。秋になると収穫に向けて、1週間ごと試食しながら、「まだすっぱいよ。」「だいぶ甘くなったね。」と収穫時期を決定。11月16日には甘く実った温州みかんをたくさん収穫しました。

また、みかん農家だけでなく柿農家にも見学に行き、今年度は比べながらまとめました。

その後、2年生や保護者を招待して、1年を通して追究してきたことを、発表会を開いて伝えました。甘夏、温州みかん、ネーブル、清見と1年を通してみかんに関わり、テーマどおり「みかん大すき！」になることができました。



▼みかん博士から収穫のこつを聞く児童



▲みかんと柿を比べたよ(発表会)

○4年生「ホタルのすむ里 谷川」

(ホタルの飼育を通して環境問題を考える活動)

5月に校区の半尻川に出かけ、ホタルの餌になるカワニナ採りをし、ブラシできれいに洗いました。昨年度、川の工事を行ったので、今年度はホタルがきれいに光るのか心配していました。

6月に入ると全校にホタルの観察を呼びかけ、のべ1058匹観察され、ほっとしました。また、ホタルを卵から孵化させ、人工飼育に取り組みました。今年は3652匹孵化

しました。

毎日餌のカワニナやキャベツの様子を見て、そうじ、水槽の温度管理などを続けた結果、学校のホタル園に9匹、半尻川に224匹を放流することができました。ホタルの環境にもやさしい護岸ブロック工事のおかげで、草が少しずつ生えてきた様子も確認できました。

1年間ホタルについて追究してきたこ



▲学校のホタル園に放流



▼ホタルの幼虫を数える児童

とは、全校集会や地域の「ホテル保存会例会」（2/25）で発表しました。

○5年生「育てよう 谷川米！」（稲作体験を通して農業や食について考える活動）

6月に、地域の方の田んぼを借りて、田植えを体験しました。泥んこになりながら、夢中で苗を植えました。活動後の感想では、「農家の方の苦労がわかりました。」との声が聞かれました。

10月には黄金色に稲が実り、11日に稲刈りをしました。かまで手際よく3株ほどを束ねながら刈り取っていきました。また、機械を使って刈る作業も体験しました。27日には脱穀をし、117kgのお米を収穫しました。講師の先生方を招待した「米作り感謝の会」では収穫したお米で作ったおにぎりをふるまい、一緒においしく食べました。

また、これまで個人テーマに沿って調べたり追及したりしてきたことをまとめて、全校児童、地域の講師の方々、保護者に向けて発表しました。



▲田植えをしたよ



▼脱穀を体験したよ

○全校「民芸教室」（伝承遊びの道具を制作したり、地域の方々から遊び方を教えていただいたりする活動）



▲竹馬づくりを教えてもらったよ

2月10日に地域のお年寄りに昔ながらの遊びについて学ぶ民芸教室を開きました。1・2年生は、メンコ、あやとりなど4種類の遊びを教えていただきました。

3～6年生は、凧、紙玉鉄砲、数珠玉アクセサリーなど地域の自然素材を使って、7つの講座に分かれ制作や遊びを体験しました。

最後に5年生が収穫したお米を使って、地域やPTAの方々の協力により五平餅を作り、みんなで食べながら交流しました。

○全校「菊づくり」（地域の方から菊づくりを学び、一人一鉢の菊を育てる活動）

1～3年生はドーム型の小菊、4～6年生は3本立ての大輪の菊を育てました。

6月に苗を植えつけ、肥料や水をまいて世話をしました。蕾がなかなか大きくならずに心配しました。9月には芽かきをし、その後、育った蕾に花台を付ける作業を、教えていただきました。



▲大輪菊の花台つけ

11月には満開になり、地域の文化祭や校内に飾りました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）